

# 牛久：学校周辺に見る自然

第19号 ひたち野うしく小学校

2018年5月27日発行

## ＜ 晩春のみずべ公園 ～⑦鳥＞

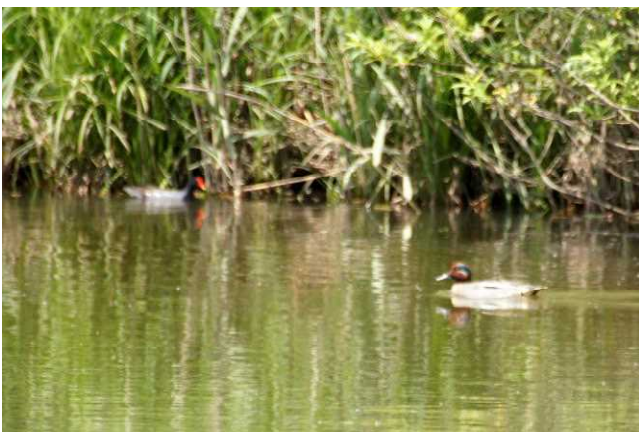
ひたち野うしく小3年生と歩いたみずべ公園、今回は、鳥。



池で一年中見られるカルガモ。くちばしの先が黄色いのが特徴（上2枚）。冬鳥コガモの雌雄（左下）。

まずは、池で一年中、ほとんどの日に見られるカルガモ。くちばしの先が黄色いのが特徴で、まず見まちがえることはないでしょう。岩の上で、頭をかくすようにして休んでいるのもいました。

冬鳥のコガモも、まだ見られました。おすは、赤茶色の頭に緑の帯が入って目立ちますね。



ふゆどり

冬鳥コガモのおすと、おでこの赤いバン（左）。コガモよりもっと小さく、ムクドリくらいの大きさのカイツブリ（右）。



池の向こう岸近くにいたコガモを撮っていたら、そばにバンもいました。赤いおでこに、くちばしの先の黄色が目立ちます。

カイツブリも、池でよく目にします。コガモは体長 38 cm とハトくらいの大きさでカモの仲間では最小ですが、カイツブリは体長 26 cm とムクドリ程度の大きさだそうです。こんな小さな鳥が大きな魚を飲みこんだりするのを見ると、いったいおなかの中はどうなっているのだろう？とってしまいます。





岩の上で片足を上げるカワウ(左上)。 ヤナギの中に入っていくゴイサギ(右上)。 中左から、ヤナギの枝にとまるシジュウカラ、上空を飛ぶアオサギ、ツバメ。 キジバト(左下)。

まっ黒なカワウも、いつもの岩にとまっていた。ゴイサギも何かに驚いたように飛び立ち、向こう岸のアカメヤナギに入っていきました。

近くに、シジュウカラの姿も。カルガモやアオサギ、ツバメ、キジバトなども、上空を飛ぶ姿が今回多く見られました。

数メートルしか離れていない通路沿いの枝には、スズメがとまったのでパチリと1枚。広場では、しきりに地面をつつきエサを探すムクドリが。12号で紹介した鳥の巣はそのまま、やはり鳥の姿は見られませんでした。

【理科支援員：宮内】



すぐ近くの枝にとまったスズメ(上)。 地面をつつきエサを探すムクドリ(左下)。 タカの仲間？の巣(右下)。